事故・ケガ報告

※通院の必要があったもの

H31年4月1日～R2年3月31日

種類	件数	%
自傷	1	5.0%
他害	2	10.0%
転倒	4	20.0%
誤飲	3	15.0%
その他	10	50.0%
	20	100.0%

事故・ケガ報告詳細

日にち	種類	内容	対応と改善策
4月4日	誤飲	14：30頃、ソファーに座っていた本児がソファーの穴が開いていた所に手をいれ、綿を口に入れて飲み込んでいるのを発見する	・口内に残っていた綿を除去、その後飲水 ・降所時まで経過観察。TELにて保護者に報告と謝罪 ・カバー（防水シート）を敷き、穴が見えないように対応
			・ソファーを縫い合わせ、穴を塞ぐ。 ・その上から常時カバーを敷き、対応していきます。
5月9日	その他	手遊び中、支援員との距離が近く本児の眉間を引っかき出血有	・清浄綿にて出血カ所を清潔にし、止血 ・絆創膏にて傷口の保護 ・保護者に状況説明、謝罪
			・適切な距離感を保つ
6月8日	その他	AM課題後の余暇時間に本児がオイルタイマーを持ちロッカー上部の物入れを開けてオイルタイマーを入れようとしていた。その際口頭でしないよう注意をすると一度は止めていた（オイルタイマーは回収せず）その後、再び同様の行動が見られたため、本児の元へ行った所、オイルタイマーが落下し、本児の額付近にぶつかった。患部を確認すると眉間に赤みが見られた（傷は無）	・患部をアイシングした後、冷却シートを貼り様子見
			・危険が予測される行動が見られたらその場で障害となり得るもの（オイルタイマー）を回収する ・異なる遊具を提示し安全に遊べる場を提供する。
6月11日	転倒	トイレ誘導をし、トイレ前廊下まで行ったが、急に振り返り走り出し個室のソファーに座ろうとする。その際、支援員が個室床にあった他児のランドセルを発見し躓かないよう本児を静止しようとした。その時、支援員が持っていたトイレバックの紐が本児の足に引っ掛かり転倒した。転倒時の姿勢は四つん這いだった。	・患部の確認、アイシング ・個室内の障害物の片付け（ランドセル）
			・個室及びルーム内の整理整頓に努める ・トイレ誘導したら廊下の扉を施錠する
7月29日	その他	午前のDVDが始まった直後、ルームの鍵を開けようとしていたため、本児に「何しますか」と尋ねた。すると「トイレ行く」と返答あり。それに対し支援員は「DVDおわってから行きます」と伝えた。その直後本児が手を挙げ支援員の右眼付近に当たる。直後は痛みが強く見られたが次第に和らぐ。また、目のかすみ症状が見られた。翌日右眼周囲の違和感・かすみがみられた	・児発菅へ状況報告 ・本児のトイレ誘導実施 ・報告後、支援員のアイシング実施 ・持参していた目薬点眼
			・児童と接する際は適度な距離間をとる
7月26日	転倒	個室内から他児が走り出す。床に座って遊んでいた本児に接触、転倒	・外傷確認 ・外傷見られなかったが5分間アイシング実施 ・様子観察、嘔吐など見られずいつも通りすごす
			・走り出す利用者を制止せずに周囲の環境を整え座って遊ぶ方たちを安全な場所へ誘導する。 ・床にテープを貼り遊ぶスペースを区切る
7月20日	その他	ミュージックケア中に綿毛の会講師の手がダンス中に本児の左目上に当たってしまう	・本児に状態確認 ・外傷確認 ・患部のアイシング
			・意見書で綿毛の会に利用者との距離感を取るように意見を出します ・自立している利用者であっても担当支援員のそばで参加してもらう
8月28日	他害	本児が椅子に座り自由帳を見て過ごしていた。その際支援員は近くに立ち様子を見守りしていた。13：30来所の利用者に支援員が気を取られた際、テーブル付近に他児が近付き、何かをいじろうとしていた所、本児が他児の左ほほを2回叩いた。	・左頬確認 ・様子観察、保護者への謝罪 ・本児から他児へ謝罪
			・当該児童は他害が見られるため、見守りを徹底する ・他児が当該児童に近付いたら特に注意を払い物を取ろうとしていればすぐにその場から離れるよう促
8月27日	その他	12：50頃、昼食を終えた本児はルーム内を一人で歩いていた。 その際、ルーム内にはテーブルが一台あり昼食をとっている他児もいた。 本児がルーム内を歩いていた際、テーブルに気付かずそのまま前進しテーブルのヘリに頭をぶつけた。	・外傷確認→額上部左側に赤み見られる。出血無。 ・該当箇所アイシング実施 ・ご家族への謝罪
			当該児童は歩行時視線が下向きになっていることが多い。このため、ルーム内に障害物があり支援員の目が行き届かない状況下には、個室へ誘導し、個室で過ごすようにする。
9月19日	その他	16：00～日替わりウォーキング中、机の下にあったソファーに横になり職員が目を離したすきに机の下から出ようとして机のはしに背中をこすった。	・本児の患部確認→赤み、擦り傷あり ・該当箇所アイシング実施 ・ご家族へ自己説明、謝罪
			・本人には机の下に入らないよう伝える ・のれんや毛布を机の上にかけて視覚的に入れないように環境を整える。
9月19日	転倒	16：00～日替わり活動のウォーキング中、他児がサイドステップをしながら近づいた際、本児の左わき腹付近にぶつかり、バランスを崩し、右手足を下にした状態で転倒する。	・本児の患部確認→赤み、外傷なしのため様子観察 ・ご家族へ事故説明および謝罪 ・本児にぶつかった児童にマンツーでつく（テンション高く急な走り出しが見られていたため）
			・急な走り出し等あり、ウォーキング中に他児にぶつかることが予測される児童がいた場合、始めから支援員がマンツーで付く。
10月22日	誤飲	14：30頃、プラスチック製のおもちゃを噛み千切る。破片は2つあり、1つは口腔内より除去したもの、もう一つは飲み込んだ様子	・口腔内から破片摘出 ・水分摂取、様子観察 ・10/28 主治医確認、10/29 受診（定期受診）
			・口腔内に物を入れたらすぐに取り出す ・壊れやすい物は持たせない ・事故フローチャートの改正（迷ったら主治医へ確認追加） ・転倒、誤飲、ケガ→内容に応じたフローチャートを作成する。
10月23日	自傷	学校に迎えに行き、車内に座ったときにはすでに右手の人差し指の爪あたりの皮膚の皮が剥け出血していた。 いじらないよう声をかけるも気が付くと傷口をいじっており、さらに皮膚が剥け両手が血だらけになっていた。	手洗いをして出血部位の確認 右手人差し指に絆創膏で保護
			・いじらないよう声掛けする ・送迎時用の持ち物として、応急処置セット（洗浄綿、絆創膏、ディスポ）、気を紛らわすグッズ（雑誌）を持参する。
10月26日	他害	10：30頃、課題後の水分補給をしていたが、立ったまま飲んでいた為、支援員に何度も注意されていた。 ルーム内をウロウロしながら、他児の後方に立つと、その直後他児の首の後部を平手で一回叩いてしまう。 確認すると赤みが見られたが、出血や腫れは見られず	・首の後部以外に外傷がないか確認→外傷無 ・患部（首の後部）のアイシング20分間→赤みは消失 ・本人確認→痛くないとの事
			・本児が落ち着かない時は離れず側で過ごす ・クールダウンの為、座って過ごす（おもちゃや作業） ・立ったまま飲んでいた時は一回口頭注意をし、その後は座るようジェスチャー等で促す。
12月17日	その他	本児が個室に入ろうとしたタイミングで他児が引き戸を閉めた。 閉めた引き戸が右眼脇の外側に当たり、赤みと腫れが有り、対応した。	・患部の確認→赤み、腫れ有り ・該当箇所アイシング20分間 →赤みほぼ消失、腫れ若干残る ・送り時、管理者にて、状況説明と謝罪
			・今回は該当児童を見ている最中、他児の行動までしっかり目配せ出来ていなかった。 ・いかなる状況でも引き戸の前では静止してもらい、安全確認の上でルームに入ってもらう。（スタッフ同判事） ・個室のソファー側の戸は固定して開かないようにする。テレビ側の戸は外して暖簾で目隠しする。
12月6日	転倒	16：00頃、本棚の前で過ごす。 発作が起きたと同時に横に倒れる。 その際こめかみ部分を本棚にぶつける。	・本棚より少し離し、発作終了後アイシングを行う ・赤み腫れ無（支援員2名で確認） ・本児特変無 ・保護者へ説明、謝罪
			棚前にラインを引く（倒れた時にぶつからない距離を取る）
12月20日	誤飲	15：50、トイレ誘導し、パッド交換する。 16：20トイレ誘導した際、ロンパースのボタンが全て外れてめくれあがっていた。下着を下した際、パッドの前方左側の一部が欠損している所を発見する。	・パッドを外し、手や口腔内にパッドの欠損部が付いてないか確認→異常なし ・体調変化がないか様子観察→著変なし ・本児の様子、行動を注意深く見守る
			・ロンパースのサイズ調整を保護者にお願いする。
12月24日	その他	ルームと個室を隔てる暖簾を本児が引っ張り、暖簾が下げてあるツッパリ棒が落下する。近くにいた支援員が本児にぶつかる前に棒をキャッチした。心配して支援員が数名集まってくると驚いた表情を浮かべ泣き始める。また、あごをさする動作が見られた。	・顔面、あごの外傷確認→外傷、赤み無 ・本児が気にしていたあごをアイシング →3分ほどで自分からアイシングを外す。（以降、様子観察） ・お迎え時、保護者に状況説明と謝罪
			・ツッパリ棒を小窓に針金で固定する。
1月20日	その他	本児がルーム中心で横になって過ごしていた際、レク用のおもちゃを持った他児が本児の上をまたぎ本児の身体に他児の足がひっかかり、おもちゃが落下。 （現場を見ていた支援員がいないため一部憶測）	・本児の外傷確認→右腕が赤くなっていたためアイシング ・保護者へ謝罪 ・他児の足を確認→外傷なし
			・レクのおもちゃは支援員が持っていく ・支援員の立ち位置を気を付ける（ルームに背を向けない） ・またぐことを行けないことであると伝える ・当日の役割分担決め
2月7日	その他	本児がひらがなボードを噛んでいた そこに他児が小走りで近付きひらがなボードにあたる。その際、本児が口唇を強打。	・２名の外傷確認 ・他児→直後頭を押さえていた為、頭をぶつけたと思われるが、肩という意見も上がる。肩の外傷確認なし。未処置 ・本児→口内確認、下唇の中央が内出血→アイシング。 歯のぐらつきなし。
			・立ったままおもちゃで遊ばない ・他児は以前から下を向いて歩くため、見守りは必要 ・おもちゃの購入